

がん化学療法プロトコール

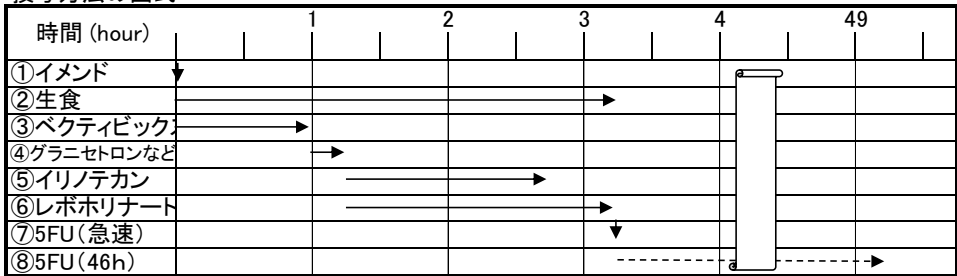
氏名: _____
 ID: _____
 体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **FOLFIRI+パニツムマブ**
 対象疾患 進行・再発の結腸・直腸がん
 診療科 外科、消化器内科
 施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
①	イメンド	1セット(3日分)			CPT11投与60分以上前に、1日目を服
②	生食	250mL			血管確保とフラッシュ
③	ベクティビックス	6mg/kg		生食100mL	1時間で点滴
	デキサート	9.9mg/3mL (3A)			
④	グラニセトロン バッグ	3mg/50mL(1袋)		混注	15分かけて点滴。
⑤	イリノテカン	150mg/m ²		5%糖液250mL	90分で点滴
⑥	レボホリナート	200mg/m ²		5%糖液250mL	2時間で点滴
⑦	5FU(急速)	400mg/m ²		生食20mL	2分で急速静注
⑧	5FU(46時間持続)	2400mg/m ²		生食	46時間持続静注

2 投与方法の図式



3 投与スケジュール
 1クール14日間。

4 特記事項

- ・ ベクティビックスの投与の際はインラインフィルター(0. 2又は0. 22ミクロン)を使用すること。
- ・ 携帯型ディスポーザブル注入ポンプの調製は換算表を用いて生食の充填量を計算する。
- ・